

秋の西里 稲刈り「初」体験 特定非営利活動法人複合力

複合力は、清水森林公園やすらぎの森を中心に、耕作放棄地を利用したの米作り、地元企業と協働した自主製品の製造販売、天然素材を活用したのワークショップなどを通じて地域の魅力を発信し続けています。丹精して育てた稲を刈り取る作業があると聞き、センタースタッフが恐る恐る参加してきました。



法人理事長 加藤伸一郎さん



刈り取った稲束を稲架（杭に横木を渡した棒状のもの）に掛けて太陽と風の力で自然乾燥させる伝統的な方法で、稲架掛け（はさがけ）といいます。

今は機械で乾燥させたり脱稿させたりするけれど、自然の力で乾かす方が美味しくなるんだよ、ただ、手間と時間がかかるし、これから時期台風が心配なんだけどね。
この作業を一カ月かけてやるんだよ、



稲束を掛ける「稲架掛け（はさがけ）」のお手伝い。1時間ごとに水分補給と休憩を挟みながらも、日頃建物内で仕事をしている私には、日差しの強さと運動不足から途中離脱。
この体験で、過酷な作業を毎日続けている農家さんに、改めて感謝。

